

2024.02.20 シニアクラブ Online 会合報告

2月というのに群馬県伊勢崎市では気温 25℃を超える夏日となったと報道されるような季節外れの温かい日となりました。このままいくと桜の開花もずいぶんと早くなるかもしれません。

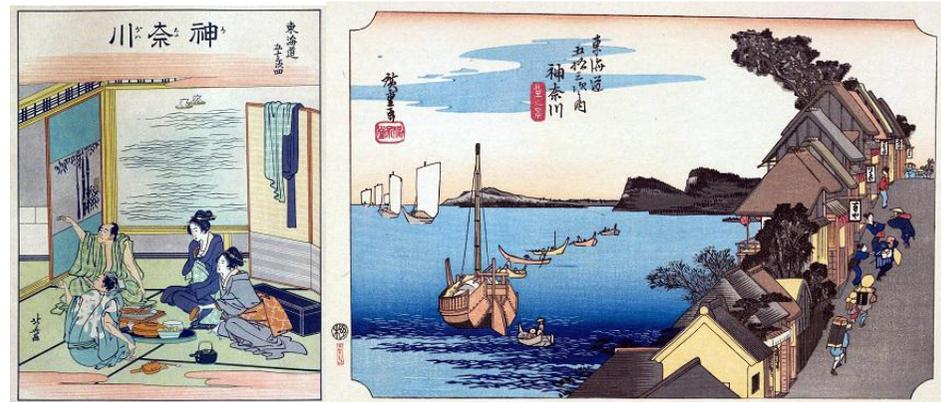


この会合にほぼ毎回参加している新潟県松之山温泉の島田女将から玄関先の積雪状況について中継がありました。例年なら1m以上の雪が積もっているはずなのにほとんど残っておらず、今冬は屋根の雪下ろしも1回行っただけとのこと。この地には1月に「婿投げ」という昔から伝わる祭りがあります。新婚の婿さんをお寺の境内から崖下の雪の斜面に放り投げる豪快な行事です。今年は無事開催できたようですが、その雪もドンドン溶けてきてしまったようです。

https://www.tokamachishikankou.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/Information-Application-Form_mukonage.pdf

このサイトは婿投げ行事への参加募集のパンフレットです。地元の婿さんだけでなく全国からの募集もしています。身近なところに参加希望者がいたらこれを紹介してください。来年もその時期には雪がいっぱいあることを期待しましょう。雪が少ないと投げられた婿さんは大けがをしてしまうかもしれません。

今回の本題では、北斎と広重の東海道を比較しながら眺めてみました。北斎の絵は広重よりも20年ほど前のものです。一例として右上に「神奈川宿」を並べていますが、皆さんの感想はいかがでしょう。



- ・広重の絵は写実的だが、北斎の絵はアニメ的な感じだ
- ・北斎の絵では各宿場の特徴が余り描かれずどこでも同じような感じ
- ・北斎の絵を見ても特に旅をしたいとそそられる気にならない
- ・描かれる人物の動きが静止画的で広重の方がダイナミックに感じる

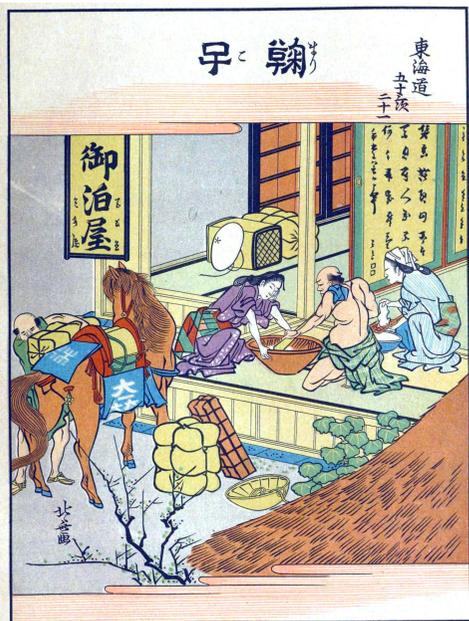
今回の参加者からはこのような意見が述べられました。これは浮世絵が描かれた時代の違いが反映されているようです。北斎が描いたころは風景画は主流ではなく、主に役者絵とか美人画が好まれた時代であり、広重が描いた1830年代頃になって浮世絵のテーマに風景画が広がり各宿場の様子や景色などが描かれるようになりました。事実、北斎の有名な「富嶽三十六景」はこの時代になってから描かれています。街道ものの浮世絵はいくつも出版されているので、次のページにその案内を記しておきます。

・江戸から20番目の宿「丸子」はとろろ汁が名物で描かれています。宮田さんから、自宅の庭でとれた曲がりくねった自然薯の紹介がありました。あわせて、真直ぐな自然薯の育て方の紹介もありました。次のページをご覧ください。

・2月11日に開催された「蕎麦打ちの会」で打ったそばを自宅でかき揚げと一緒に食べた、あるいはまた大根おろしで食べたなどおいしい写真と共に報告がありました。この自然薯と一緒に食べればもっとおいしかったかも知れません。否、やっぱり自然薯はマグロのブリでやまかけだ！との話もありましたが・・・。

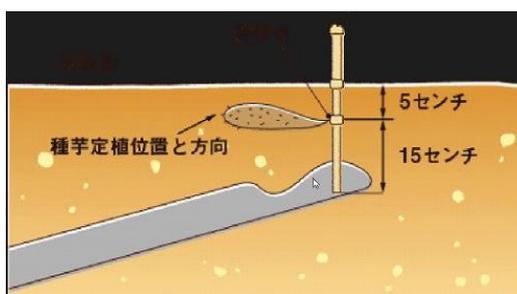
・最後に浅見さんの「雛祭りの歌♪」で終了。もうすぐ春ですね。

☆☆☆ 丸子（鞠子とも書かれる）の宿は江戸から京に向かうと府中（静岡）の次の宿。とろろが名物です。北斎の絵と広重の絵を並べます。北斎の絵ではとろろを搗鉢の中で搗っている場面が描かれています。広重の絵では「名ぶつ とろろ汁」の看板を立てた茶店が描かれて、店先で食事をする旅人と店の左には長い竿を持った男が歩いています。この男は自然薯を掘って今しがたこの店にそれを売って帰って行くところでしょう。



今回の会合の中で、宮田さんからこの絵についての説明と、自宅でとれた自然薯の写真が紹介されました。絵の中の男が持つ長い竿の周りには紐が巻き付けられており、地中に伸びたまっすぐな自然薯を掘り出して、それを店に持って来るまでに折れないようしっかりと支えてきたと思われる。

写真は、宮田さんの家の庭でとれた自然薯と店で売られていた自然薯です。このように真直ぐなものを収穫するには図のような器具を使って育てていると。搗ってしまえば味には変わりはないと思いますが…。



現在も「丁子屋」の提灯を吊り下げてこの店は営業を続けています。店内には東海道五十三次の浮世絵が飾られています。



<https://chojiya.info/>

北斎、広重の浮世絵は次のサイトから引用しています。
【みんなの知識、ちょっと便利帳】『浮世絵、錦絵を見る』

https://www.benricho.org/Unchiku/Ukiyoe_NIshikie/

他にも作者、テーマ毎に浮世絵がいろいろ載っているの、アクセスしてみてください。

更にこんな絵もありました。アマビエの念力が効いたのか、最近のコロナの威力は当初に比べれば随分と弱くはなってきたと思いますが、まだまだ流行りは終わりを見せていません。



春近しと言えど、健康には十分に気を付けましょう。

2024.02.22

JVCKWシニアクラブ事務局長 田代 周